

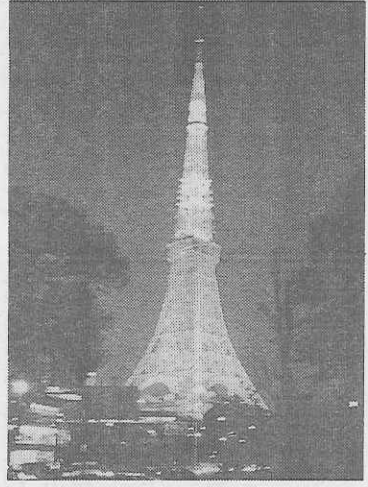
修学旅行新聞

発行人 財団法人 全国修学旅行研究協会
編集長 田代 田三郎
発行所 東京都千代田区千代田2-8-7
〒100 (3262) 2426・2932
電話 (東京) 6-36337

揺れる海外旅行 長期化すれば 修学旅行に影響も

一月十七日の湾岸戦争開始から一月が経過した。旅行業界は海外旅行、とりわけシーズンに当たる新婚旅行、大学生の卒業記念旅行の取消依頼が絶えず、昨年達成した「海外旅行者二千万人」も今年は無理との声もある。大手旅行業者の場合は、行先を国内に変更することも可能なが、海外専門業者への打撃は大きい。

海外修学旅行は中東方面を目的地とせず、春の実施も少ないため、直接の影響は聞かれないが、戦争が長期化すれば、目的が韓国など近隣諸国に消灯され、美しい夜景の観



続けてほしいライトアップ

光は興味半減の状況である。消され、東京タワーだけが美しく夜空にそびえている。観光は平和へのパスポート。観光は平和へのパスポート。観光は平和へのパスポート。観光は平和へのパスポート。

修学旅行は、学習を社会に移したもので、生活指図及び集団訓練の好機であり、教育計画の一環として行われるべきである。従って修学旅行を安全かつ有効に実施するための企画及び運営を科学的に調査研究して、昔々の改善に努力し、教育効果の充実に向けた努力は必要であり、教育界に課せられた責務でもある。

時言 真の体験学習とは

編集委員 北條 直樹

修学旅行において、今、体験学習が強調されている。全修協の調査によれば、すでに高校では半数を超え、中学校でも三分の一以上の学校が取り組み、年々増加の傾向にある。修学旅行の体験学習がいわれはじめたのは「荒れた学校」がマスコミをにぎわした五十年代である。教師の押しつけ的なものでもなく、生徒が自主的な体験学習をすすめるようになり、教育的効果を上げようとするものもあった。

現在学校側の取り組みが主であり、その効果を達成しているのは喜ばしい。問題点も幾つかある。その一つは、自主研修と体験学習との区別である。生徒が班別行動する中で一つの体験には違わぬが、それは方法論であって、中身が教育的内容を内蔵して行われているかどうかが鍵となる。

第二に、いわゆる「スキ」修学旅行を体験学習として行っているところもある。確かに、スキは体育の学習にあたり得るものであり、その意味において体験的な教育活動といえる。しかし、学校の行事の旅行、集団宿泊行事に位置づけられた修学旅行として行われるのは、すべての教科を含めた教育活動であり、学校教育の総仕上げであるからである。そうした意味を考慮すれば、スキのみに目的としたものは教育活動であってはならない。

したがって、従来から先行的に体験学習を重視してきた修学旅行においても、この際、改めてその在り方が問われることになる。平素と異なる生活環境にあり、見聞を広め、自然や文化などに親しむために、どんな内容をもった体験学習がよいか。集団生活の在り方や公衆道徳「を考ふるために、どんな体験学習がよいか。

その第一は、学校教育の全体像からの検討である。学校がどのような生徒を育成しようとしているのか。そのために修学旅行はどのような役割を果たすべきか。生徒の人間形成に寄与したいものである。

創立35周年記念総会開催 全修協

財団法人全国修学旅行研究協会の創立三十五周年記念総会は、三月六日(水)東京のランドホテル市ヶ谷において開催することに決定した。

次期大会の充実と組織強化を協議

近畿地区公立中修学旅行研究協議会の平成二年度第三次運営委員会が、一月二十三日大阪のグランド近鉄で行われ、次期大会の充実と組織強化について、を中心として協議された。

心豊かな修学旅行の実施を目指して

岩手県教育旅行研究会(通称：旅行の現状と今後の方向)川俣俊会長は、設立一周年を以て、岩手県教育旅行研究会として、一月十二日盛岡市の中島和友事務局次長が講演し、修学旅行研究懇談会を開催した。

修学旅行研究懇談会を開催

岩手県内の中学校・高等学校の校長・教頭・教諭を中心として、岩手県教育旅行研究会が、一月十二日盛岡市の中島和友事務局次長が講演し、修学旅行研究懇談会を開催した。

また、平成四年度以降の修学旅行参加申込み決定通知について、従来どおり近畿地区公立中修学旅行研究会事務局で行うこととした。

風紋

節分、立春、修学旅行のシーズンは山を越えながら、受験戦争は正念場を迎えた。梅の開花とともに各地の天神様は合格祈願の受験生たちでにぎわっている。湾岸戦争は長期化するのだろうか。平和な日本でも、交通戦争、ゴミ戦争は深刻だ。経済成長の副産物とはいえず、終わる見通しはない。競争ならともかく、戦争と呼ばれるものが永遠に続くのは問題である。修学旅行の周辺でも、交通渋滞は日常茶飯事になっており、弁当の空き箱や空きカンの量も増加の一途である。ゴミ処理など埋立地が広がり、東京の湾岸状態もどんどん変化している。首都高速道路湾岸線を浦安の東京ディズニーランドから都内に入ると、新しい見学地が続く。マダロの群泳する葛西臨海水族園、清掃工場熱利用の夢の島熱帯植物館、第五福電丸展示館、ガスの科学館、船の科学館が東京湾トンネルの手前に。若者に人気のEMザ有明は倒産した。海底トンネルを抜けて大田市場、東京都野鳥公園、そして羽田空港、横浜はベイブリッジとMM21、湾岸というよりも、ベイエリア、ウォーターフロントと呼ぶ方が聞こえが良い。省エネで東京タワー以外はライトアップが中止され、夜景は寂しくなった。しかし、冬の東京は天候がよく、夜空には三つの一等星、オリオンのはつ大の星を描き、その横に木星が白く輝く。朝夕は富士の姿も、省エネが空気を清浄化に貢献し、忘れかけていた大自然が戻りつつある。 (中)

心にあざやかな思い出、信頼される旅づくり

修学旅行は、プランニングから実施まで、安全で意義深いものでなければなりません。近畿日本ツーリストでは、修学旅行に必要な事項をキメ細かく網羅した全国地域別「企画書シリーズ」を作成し、ご活用いただいております。さらに、北海道から沖縄まで、修学旅行・ビデオテープ「学習の旅シリーズ」もご用意。学校の教育方針に沿いながらも、生徒ひとりひとりの心に輝く思い出づくりのため、国内・海外のネットワークを駆使して、細心の努力をいたします。

ツーリストの修学旅行。

近畿日本ツーリスト
本社 〒101 東京都千代田区神田松永町19-2
支店/国内250店(登録)/海外15店 ©運輸大臣登録一般旅行業第20号

班別自主行動の安全確保が大きな課題

平成二年度 中学校修学旅行安全対策実態調査のまとめ

I はじめに

一、関東・東海・近畿三地区公立中学校修学旅行安全対策実態調査委員会（大島直樹会長・名古屋市長）が、平成二年度の「中学校修学旅行の安全対策実態調査」を実施した。これは高知学芸高等学校の列車事故を重視し、修学旅行の安全対策の啓蒙と、安全確保の促進を目指し、前年に引き続き実施されたもので、このほど調査結果を助全国修学旅行研究協会（山本種一理事長）において取りまとめた。なお、この調査は三年間継続して実施するものになっている。

調査の内容は、平成二年度実施の修学旅行の安全対策全般にわたっており、調査対象校は前出三地区公立中学校修学旅行連合委員会加盟校から約10%に当たる20校を抽出し、

表1 府県別回答数 (単位: 校)

府県	回答数	無回答
関東	14	6
東海	14	5
近畿	11	3
計	39	14

II 集計・分析

一、全般的な事項

1. 修学旅行の実施計画作成に当たり、法令、通達、実施基準などを確認したか。
2. 学校教育法に基づき、厳正かつ安全に行うことが大前提である。宿泊を伴う修学旅行はなおさらで、事前に関連法規等に十分目を通し、大綱を把握することも、特に留意すべき事項を心に留め置きたい。
3. 修学旅行の実施中に、安全対策上問題と思われる事項がありましたら御記入ください。
4. その他具体的な「25校」(4)具体例として、班別行動全般が10校、健康安全が5校、などが主なものである。生徒の問題行動が、現実化したものは懸念事項の第一位となっており、現場の苦勞が察せられる。

二、準備及び事前指導に関する事項

4. 実地踏査は行いませんでしたか。(行った76、行わない23、無記入1)
- 実地踏査は安全対策の骨格を形成するものである。49校がこれを重視しているが、事故が起これば責任問題に発展する可能性もある。万難を排して実行してもらいたい。
5. 実地踏査に校長も同行しましたか。(図1参照)
- 実地踏査を行った学校は19校で、その中で校長の同行が23校14%強である。修学旅行の全貌を大体的に把握するためにも校長の参加が望まれる。
6. 実地踏査の際、特に念入り調査した事項を具体的に御記入下さい。
7. 事前に所轄の衛生部・保健所、警察署、消防署と連絡を取りましたか。
8. 連絡の方法
9. 学校から連絡(37)
10. 連絡を業者(一任)(60)
11. 連絡先(複数記入)
12. 衛生部・保健所(79)
13. 警察署(60)
14. 消防署(53)
15. これらの諸機関に連絡しない学校は無記入を含め6校ある。修学旅行の安全は、このような外部の関係者との密接な協力を得て、万全を期してほしい。
16. 修学旅行に関する保護者を開きましたか。
17. (開いた96、開かない4)
18. 修学旅行の実施に際しては費用はもちろんであるが、服装、問題行動の防止に保護者の協力は欠かせない。十分な事前保護者会を実施すべきである。
19. 修学旅行に際し、参加生徒に対する健康診断を実施しましたか。

16校、宿舎に関するもの(廊下が狭い、部屋の配置が複雑、高層ビルの窓の閉閉、等12校)交通事故(行動中、夜行バス、船舶など7校)などが主な内訳である。天災を懸念した学校も3校ある。



KANSAI KISEN

大阪・神戸 直行便 別府さんふらわあ 12,000ト

大阪南港 19.00発 → 神戸中突堤 20.30発 → 別府 8.00着
8.20着 ← 6.50着 ← 19.20発

信託の船旅 関西汽船 営業部営業一課 大阪市北区梅田1-1 ☎(06) 344-7031 及び 東京支社 東京都中央区八重洲1-9-9 ☎(03) 3274-4273 旅行代理店へ

10. 女子に対する特別な保健指導を行いましたか。(行った85、行わない15)
11. 修学旅行中の生活環境が激変し、日程も強行で生理への影響も大きいと思われる。適切な指導が望まれる。
12. 修学旅行用の保険をかけたか。(かけた91、かけない9)
13. 安全対策は事故防止が第一であるが、万一事故が発生した場合の対策も不可欠である。この意味で保険は強い。12. 安全対策上携行を禁止した品目がありましたら御記入ください。
13. (無記入)(30)
14. (特になし)(23)
15. 53%の学校が、この項目については関心が薄いようである。
16. 禁止品目は次の通り。
17. ドライヤー(33校)
18. ナイフ、刃物類(32校)
19. ラジオカセット(18校)
20. ウォークマン(7校)
21. ラジオ(6校)
22. TVゲームマンガ雑誌類、化粧品・整髪料、ガラスビン類(各4校)となっている。
23. 刃物類は戦前から伝統、その他の品目については現在の世相を反映している。まさか修学旅行に行ってもももシャンでもあるまいかと思ふ。その他にカメラの携帯を禁止している学校が2校あるが、再考してみてほしい。旅行はよくても悪くても校長が

三、旅行中の行動に関する事項

16. 修学旅行の引率責任者は次のどなたでしたか。(校長90、教頭9.5、その他0.5)
17. 引率責任者は、99%以上が管理職となっている。学校教育はよくても悪くても校長が
18. 全責任者を負っている。もし現場にいたならばどの悔いを残さぬよう心掛けたい。
19. 保健関係で、次のどなたが同行しましたか。(医師5、看護婦(保健婦)1)
20. (次ページへつづく)

とびだせ自然へ 緑の箱根へ

箱根高原ホテル

〒250-05 神奈川県箱根町元箱根164 電話0460-4-8595(代表)

レクチャーホール

●修学旅行/林間学校/スキー体験学習

奥日光の自然と仲間たちとの語らい……

夏は林間学校、冬はスキー 自然探勝の基地として日光国立公園内にたつ当ホテルをご利用ください

鉄筋3階建/小学生550名/中学生550名/高校生450名収容/大浴場あり

奥日光高原ホテル 千321-16 栃木県日光市湯元温泉 TEL. 0288(62)2121(代表)

きっと、思い出いっぱいの旅になる。

修学旅行は、鈴鹿サーキットで体験学習。

見て聞いて、触れて学ぶ。ためになる体験をしたら、宿泊はリゾート感覚あふれる「ホテルK棟」をご利用ください。魅力的な施設・サービスが修学旅行を思い出深いものにします。学校団体用SPECIAL PRICEにてお待ちしております。そのほか、北欧風のD棟・E棟・G棟・J棟、団体でのお泊りに便利なビレッジ棟など多彩な宿泊施設もご利用ください。

体験学習のご案内

- エンジン教室 ●本田技研鈴鹿製作所工場見学
- モトピア ●モータースポーツ観戦 ●地曳綱
- 潮干狩り ●伊勢形紙彫り ●茶摘み ●テーブルマナー 他

お問い合わせ・お申し込みは 鈴鹿サーキット

〒510-02 三重県鈴鹿市西生町7992 ☎(0593) 78-1111 千107 東京都港区赤坂2-17-22 東京営業所 赤坂ツインタワービル東館16階 ☎(03) 3582-3221